

平成24年6月期(第21期) 第2四半期 決算ハイライト

平成24年2月3日
アクモス株式会社

目次	■ 連結業績ハイライト……………	2	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	10
	■ 連結損益計算書……………	3	■ 第21期業績予想……………	11
	■ 連結 売上高・営業利益の推移……………	4	■ 参考資料……………	12
	■ 連結 キャッシュ・フローの推移……………	5	・(info.)アクモスグループ事業	
	■ 連結貸借対照表……………	6	・(info.)アクモスグループ一覧	
	■ 連結キャッシュ・フロー計算書……………	7	・単体損益計算書	
	■ 連結業績 セグメント別増減……………	8	・単体 売上高・営業利益の推移	
	■ セグメント情報 ITソリューション事業……………	9	・単体貸借対照表	

連結業績ハイライト

第21期第2四半期
決算ハイライト



1. 売上・損益

(単位：百万円)

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	1,579	1,310	△268	△17.0%
ITソリューション	1,377	1,134	△243	△17.7%
ITサービス	223	215	△8	△3.6%
営業利益	20	△153	△173	—
ITソリューション	47	△131	△178	—
ITサービス	17	25	8	47.5%
経常利益	24	△140	△164	—
当期純利益	△20	△144	△124	—

- ・ 前期には、ITソリューションの官公庁のシステムリプレース案件による売上が301百万円あり、その売上がなくなった分、当期の売上高が減少
- ・ IT投資の案件数・受注金額の回復の遅れが続いたことなどにより、営業利益が減少

2. セグメントの状況

- ・ ITソリューションは、売上減少の影響に加え、利益率の低い案件受注の増加、自社ブランド製品開発のための研究開発費30百万円計上などにより、営業利益が減少
- ・ ITサービスは、売上高が減少したものの、販管費を前期比で13百万円削減し、営業利益増加

3. 通期業績見通し : 2011年8月2日公表値から変更なし。修正が必要な場合には直ちに開示。

連結損益計算書（要約）

第21期第2四半期
決算ハイライト



（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	1,579,367	1,310,952	△268,415	△17.0%
営業利益	20,433	△153,029	△173,462	—
経常利益	24,151	△140,505	△164,656	—
当期純利益	△20,613	△144,658	△124,044	—

損益計算書のポイント

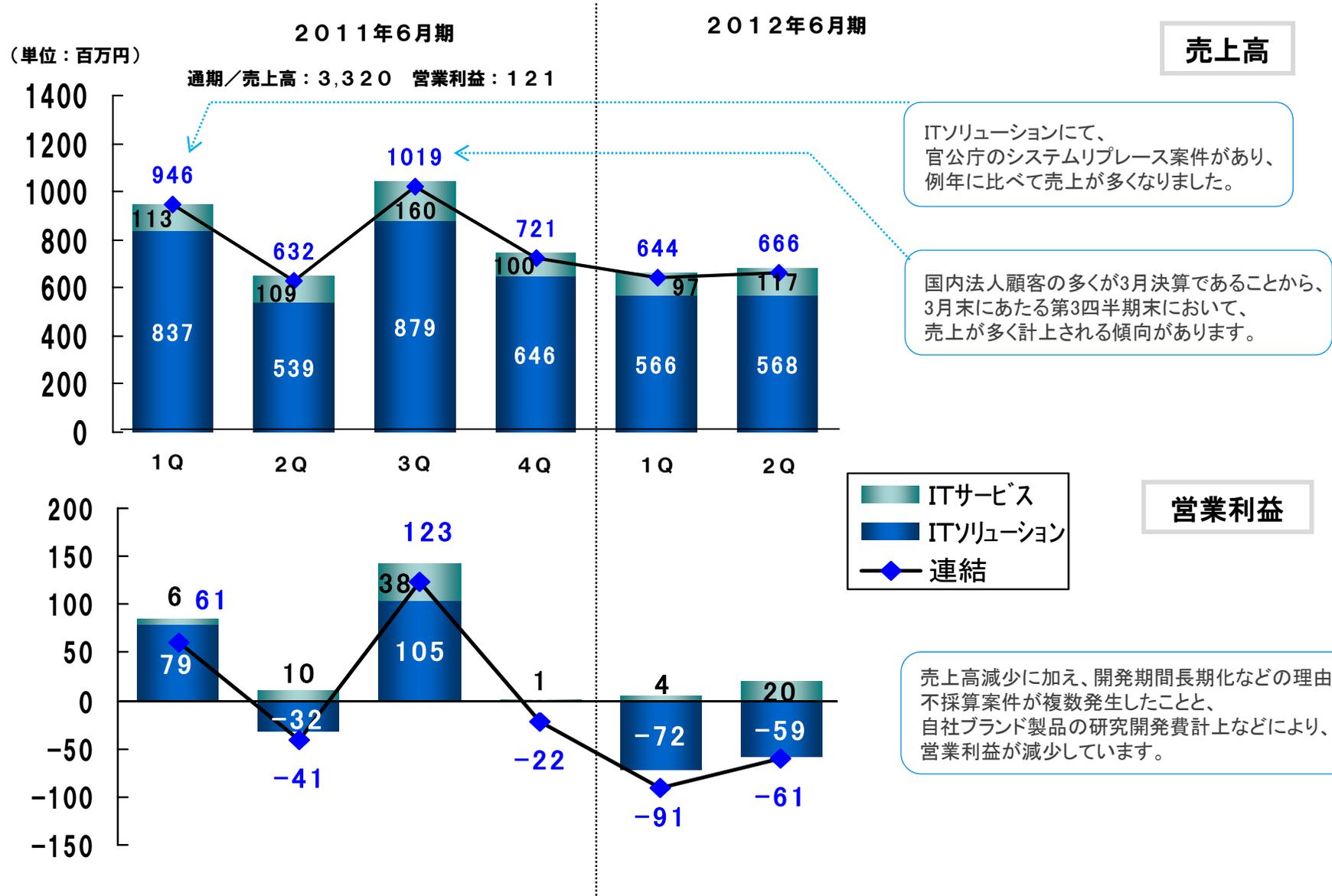
■売上高

- ・前期には、ITソリューションの官公庁システムリプレース案件の売上高 301,704千円
- ・当期は、主要顧客において電力系システム分野の案件減少や、IT投資計画見直しが実施され、客先常駐社員の夏季節電対策シフト勤務などにもより、十分な売上高の獲得が困難に

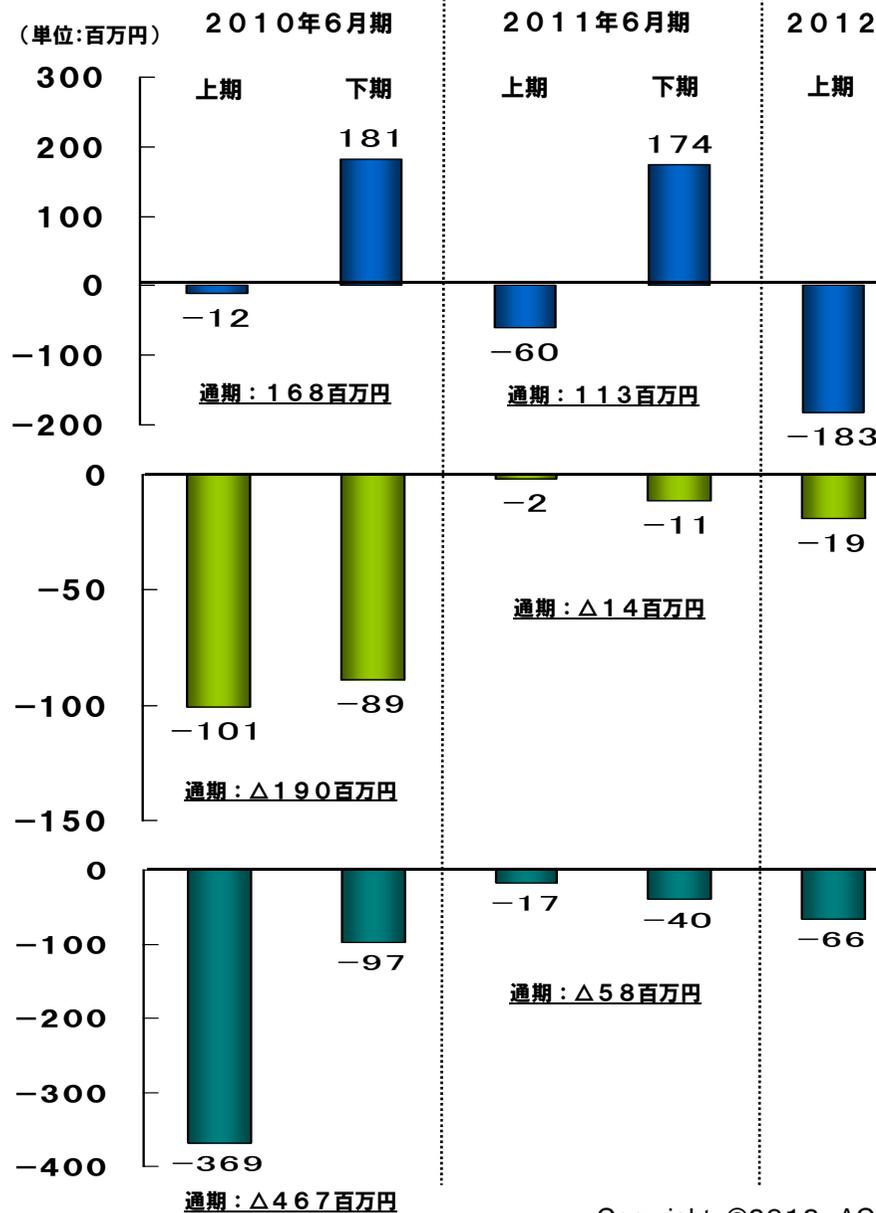
■営業利益

- ・売上高の減少に加え、利益率の低い案件の受注の増加などが影響し、営業利益が減少
- ・販売費及び一般管理費は前期比で 29,245千円の増加
 - ・ITソリューションにおいて自社ブランド製品開発のため研究開発費30,783千円計上
 - ・前期実施した本社移転や事業再構築等により不動産賃借料は前期比13,626千円減少

連結 売上高・営業利益の推移



連結 キャッシュ・フローの推移



営業キャッシュ・フロー

ITソリューション事業は、下期3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが増加する傾向にあります。2012年6月期は、売上債権の減少等141百万円の方、税金等調整前四半期純損失140百万円、棚卸資産の増加額127百万円により、前年同期に比べ減少しました。

投資キャッシュ・フロー

2010年6月期は、連結子会社4社の売却により、大きくマイナスとなりました。2012年6月期は、敷金及び保証金の回収による収入19百万円、定期預金の預入と払戻による純額23百万円の支出、有形及び無形固定資産の取得による支出18百万円の影響で、前年同期に比べ減少しています。

財務キャッシュ・フロー

2010年6月期は、借入金の返済を進めたことにより、大きくマイナスとなりました。2012年6月期は、長期借入金の返済37百万円、配当金の支払28百万円の影響で、前年同期に比べ減少しました。

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当第2四半期末	科目	前期末	当第2四半期末
現金及び預金	1,217,855	971,848	買掛金	75,539	76,460
受取手形及び売掛金	451,793	337,837	長期借入金（1年内）※	91,470	76,040
たな卸資産	42,286	169,886	未払金	84,536	84,510
その他	46,780	35,818	未払費用	208,549	105,412
流動資産合計	1,758,715	1,515,391	その他	88,055	140,158
有形固定資産	223,594	215,786	流動負債合計	548,151	482,582
無形固定資産	286,181	274,117	長期借入金	163,750	141,250
投資その他の資産	83,198	79,107	その他	23,867	21,664
固定資産合計	592,974	569,011	固定負債合計	187,617	162,914
			負債合計	735,768	645,497
			純資産の部		
			株主資本合計	1,520,228	1,346,471
			評価・換算差額等合計	2,449	1,318
			少数株主持分	93,244	91,116
			純資産合計	1,615,921	1,438,905
資産合計	2,351,690	2,084,403	負債純資産合計	2,351,690	2,084,403

※前期末、当第2四半期末ともに、短期借入金20,000千円を含んでおります。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

第21期第2四半期
決算ハイライト



（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60,807	△183,512	△122,704	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,905	△19,866	△16,960	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,930	△66,042	△48,112	—
現金及び現金同等物の増減額	※ △56,710	△269,421	△212,710	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,011,766	1,077,169	65,403	6.4%
現金及び現金同等物の期末残高	955,055	807,748	△147,307	△15.4%

※連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増加額24,933千円を含んでおります。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

■営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少等141,699千円、税金等調整前四半期純損失140,908千円、
たな卸資産の増加127,599千円

■投資活動によるキャッシュ・フロー

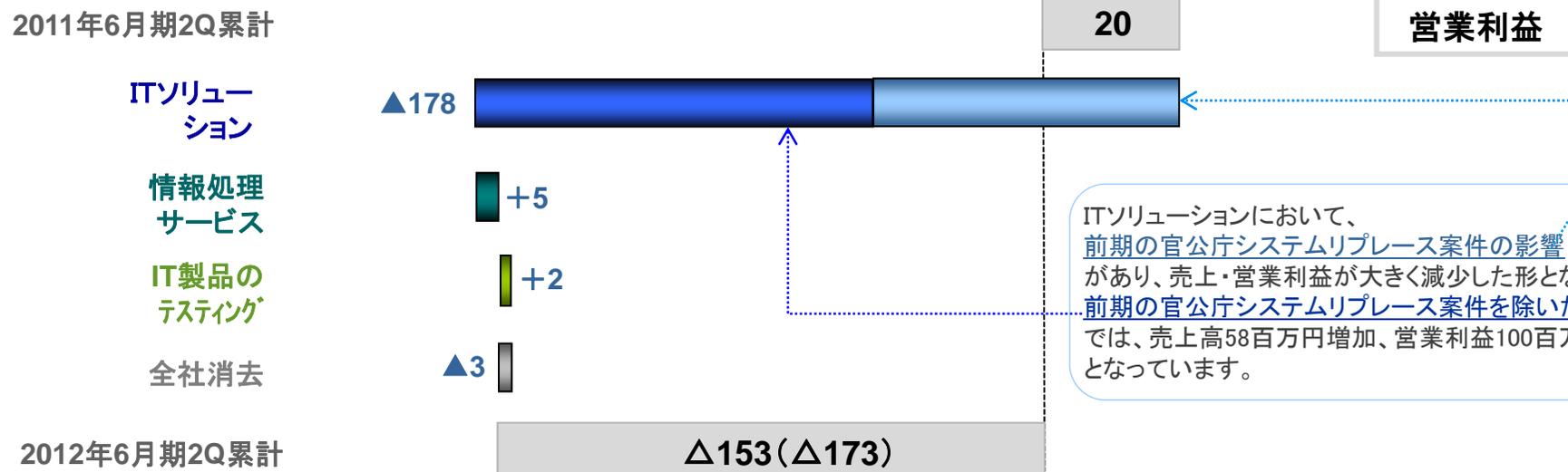
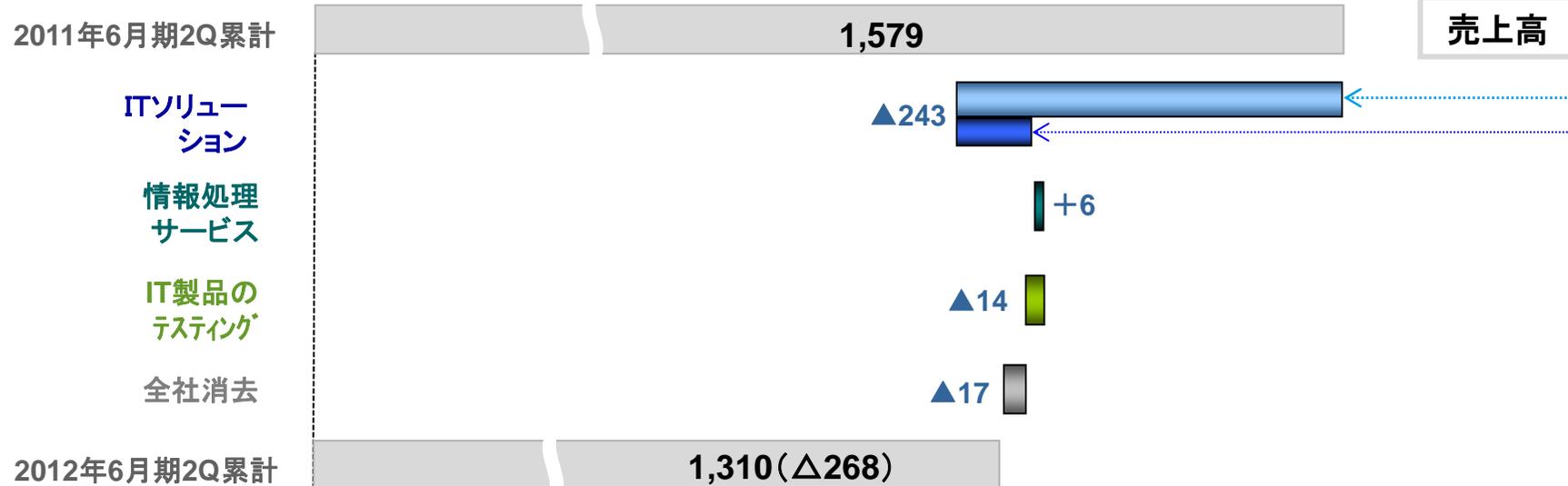
敷金及び保証金の回収による収入19,029千円、定期預金の払戻と解約による純支出額23,398千円、
有形及び無形固定資産の取得による支出18,074千円

■財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済額37,930千円、配当金の支払額28,112千円

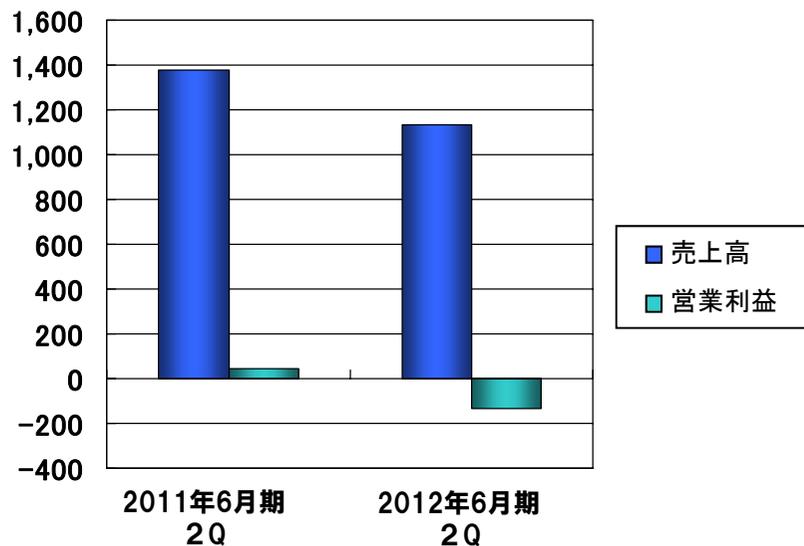
連結業績 セグメント別増減

(単位：百万円)





(単位:百万円)



事業の概況

アクモス株式会社 (製造・公共系)

- 電力系システム分野の案件減少、企業のIT投資計画見直し、客先常駐社員への夏季節電対策シフト適用などで、売上減少。
- 開発期間長期化などの理由で不採算案件が複数発生、改善するべく個別対応を実施しています。
- CTI(※)等を活用した自社ブランド製品の開発を行っており、デモンストレーション用試作品の制作、市場調査活動にかかる経費として、研究開発費を30百万円計上しています。

ACMOSソーシングサービス株式会社 (医療・製造系)

- 新規取引先獲得もあり、ほぼ予定通りの業績となっています。

(※) CTI(Computer Telephony Integration System)

…電話とコンピュータの統合システム

(単位:千円)

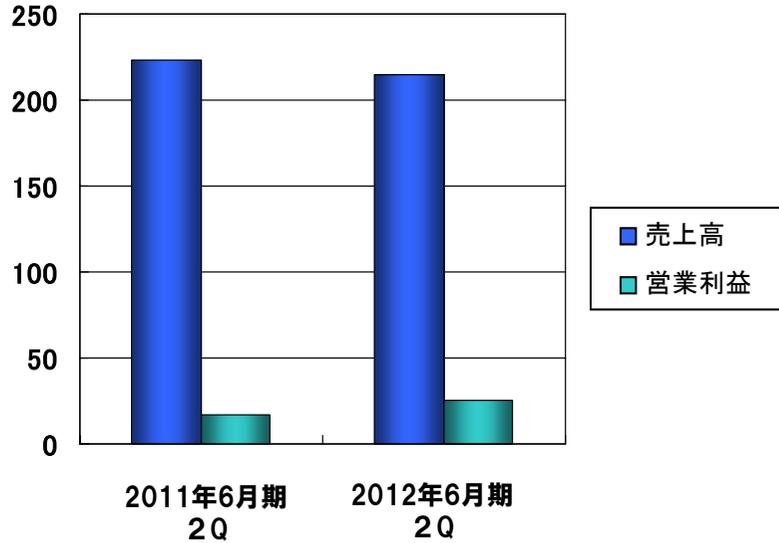
	2011年6月期	2012年6月	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	1,377,688	1,134,510	△243,178	△17.7%
外部	1,356,970	1,095,915	△261,055	△19.2%
内部	20,718	38,595	17,877	—
営業利益	47,063	△131,176	△178,240	—

セグメント情報 | ITサービス事業

第21期第2四半期
決算ハイライト



(単位: 百万円)



事業の概況

株式会社ジイズスタッフ (情報処理サービス)

- 新規取引先開拓が進み、前四半期を上回る業績となっています。
- 前期実施した本社移転による固定費の削減効果もあり、前四半期比で、販管費は4百万円減少、営業利益5百万円増加。

株式会社エクスカ (IT製品のテスト)

- 規格認証・技術者派遣では売上が伸びているものの、第三者検証分野の受注減により売上高減少。
- 前期実施した事業再構築による固定費削減効果が現れ、前期比で営業損益が2百万円改善しています。
- 2011年10月1日より、
 - ・ 次世代USB規格、USB3.0のデバッグテストサービス開始。
 - ・ スマートフォンとデジタル機器間の相互接続互換性等の動作検証センター開設。

(単位: 千円)

	2011年6月期	2012年6月	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	223,167	215,036	△8,130	△3.6%
外部	222,397	215,036	△7,360	△3.3%
内部	770	—	△770	—
営業利益	17,140	25,279	8,138	47.5%

第21期 業績予想

第21期第2四半期
決算ハイライト



連結 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2012年6月期 予想		2011年6月期 実績
	通期		通期
売上高	3,400	2.4%	3,320
営業利益	100	△17.4%	121
経常利益	100	△20.2%	125
当期純利益	80	88.5%	42
1株当たり当期純利益(円)	824.78	—	437.63

単体 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2012年6月期 予想		2011年6月期 実績
	通期		通期
売上高	2,750	2.9%	2,672
経常利益	125	△7.8%	135
当期純利益	100	41.4%	70
1株当たり当期純利益(円)	1,030.98	—	728.90

※ %表示は、通期は対前期、第2四半期累計は対前年同四半期増減率。2012年6月期の予想には新規M&Aに等による影響は見込んでおりません。

※ 2012年6月期の予想数値は、2011年8月2日発表の「平成23年6月期 決算短信」に基づいております。発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

<参考資料>

(Info.) アクモスグループ事業

第21期第2四半期
決算ハイライト



	ITソリューション		ITサービス	
ソリューション & サービス	ACMOS	ACMOS ソーシングサービス	G's staff	XXCAL
			情報処理サービス	検証サービス
コンサルティング				品質向上 コンサルティング
SI ソフトウェア開発	公共系システム 産業系システム 制御システム 情報システム エンベデッドシステム	産業系システム 製造系システム 医療系システム		
IT基盤 ネットワーク構築				
保守・運用サービス	24時間・365日体制			
検証サービス				規格認証 第三者検証 ユーザビリティ評価
情報処理サービス			アンケート集計解析 (WEB/マークシート/紙) 試験採点集計・データ入力	
BPO			各種イベント事務支援	

(Info.) アクモスグループ一覽

第21期第2四半期
決算ハイライト



アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
売上高 2,672百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8号 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3121 FAX:03-5217-3122
<http://www.acmos.co.jp>

お問合せ先 hp_biz@acmos.co.jp

主要取引先 株式会社日立製作所、株式会社日立情報制御ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社常陽銀行、
株式会社日立ビルシステム、日立電線株式会社、日立建機ビジネスフロンティア株式会社、アルパイン株式会社、KDDI株式会社、官公庁他



ACMOSソーシングサービス株式会社 (2010年7月商号変更 旧社名 日本メカトロニクス株式会社)

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
売上高 247百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8号 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3332 FAX:03-5217-3334
<http://www.acmos-ss.jp>

お問合せ先 info@acmos-ss.jp

主要取引先 日本電気株式会社、NECソフト株式会社、東京医科大学病院、埼玉病院他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
売上高 255百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8号 野村不動産神田小川町ビル3階
TEL:03-5217-3131 FAX:03-5217-3134
<http://www.gstf.jp/>

お問合せ先 inquiry@gstf.jp

主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合他



株式会社エクスカル

設立 1998年3月 資本金 2,600万円
売上高 224百万円※
所在地 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパークイーストタワー14階
TEL:045-332-7333 FAX:045-332-7444
<http://www.xxcal.co.jp/>

お問合せ先 kksales@xxcal.co.jp

主要取引先 パナソニック株式会社、株式会社東芝、ソニー株式会社、NTTドコモ株式会社、アマノ株式会社、キヤノン株式会社他



単体損益計算書（要約）

第21期第2四半期
決算ハイライト



（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	1,269,565	1,015,738	△253,826	△20.0%
営業利益	45,780	△143,288	△189,069	—
経常利益	49,142	△127,478	△176,621	—
当期純利益	18,450	△132,002	△150,453	—

損益計算書のポイント

■売上高

- ・前期には、官公庁のシステムリプレイス案件の売上高 301,704千円
- ・当期は、主要顧客において電力系システム分野の案件減少や、IT投資計画見直しが実施され、客先常駐社員の夏季節電対策シフト勤務などにもより、十分な売上高の獲得が困難に

■営業利益

- ・売上高の減少、取引拡大を目的とした利益率の低い案件の受注が影響し、営業利益が減少
- ・販売費及び一般管理費は前期比で 45,543千円の増加
 - ・自社ブランド製品開発のため、研究開発費30,783千円計上
 - ・前期比で、教育研修費 4,873千円増加、前期本社移転実施により不動産賃借料4,097千円減少

単体 売上高・営業利益の推移

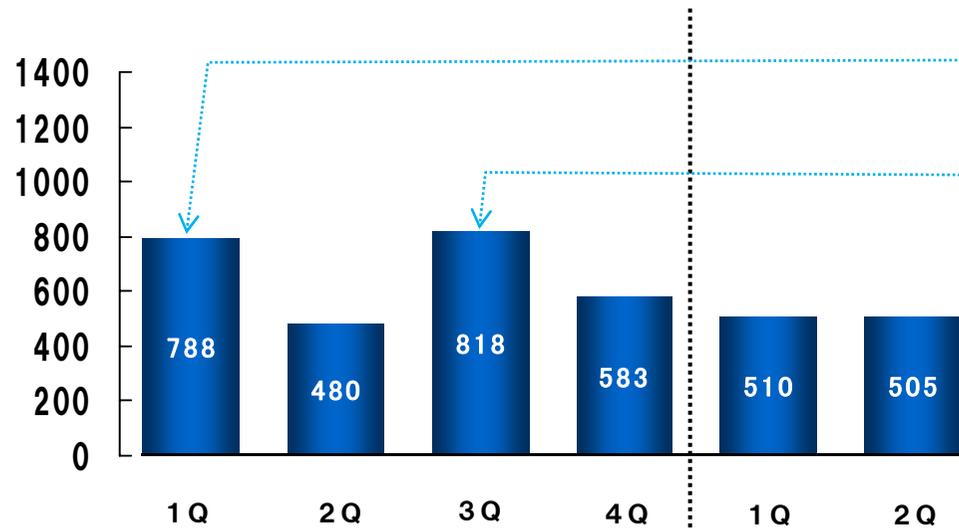
第21期第2四半期
決算ハイライト



2011年6月期
通期/売上高：2,672 営業利益：131
(単位：百万円)

2012年6月期

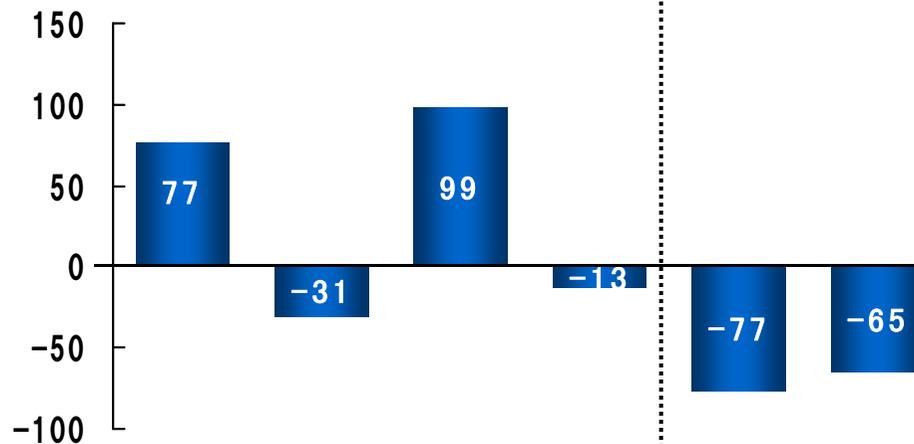
売上高



官公庁のシステムリプレース案件があり、例年に比べて売上が多くなりました。

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

営業利益



売上高減少に加え、開発期間長期化などの理由で不採算案件が複数発生したこと、自社ブランド製品の研究開発費計上などにより、営業利益が減少しています。

単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当第2四半期末	科目	前期末	当第2四半期末
現金及び預金	879,945	653,687	買掛金	73,601	71,379
売掛金	375,162	253,656	長期借入金（1年内）	71,470	56,040
たな卸資産	33,606	147,469	未払金	51,976	64,649
その他	52,470	38,150	未払費用	184,114	95,670
流動資産合計	1,341,184	1,092,963	賞与引当金	16,100	23,662
有形固定資産	192,940	189,432	その他	77,522	105,556
無形固定資産	12,284	29,266	流動負債合計	474,784	416,958
投資その他の資産	429,983	420,902	長期借入金	163,750	141,250
固定資産合計	635,208	639,602	その他	16,800	15,531
			固定負債合計	180,550	156,781
			負債合計	655,334	573,739
			純資産の部		
			株主資本合計 ※	1,318,609	1,157,508
			評価・換算差額等合計	2,449	1,318
			純資産合計	1,321,058	1,158,826
資産合計	1,976,393	1,732,565	負債純資産合計	1,976,393	1,732,565

※前期、当期ともに、自己株式△53,911千円を含んでおります。

■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営情報管理部 IR・コーポレート室 TEL:03-5217-3123